

昭和44年4月1日

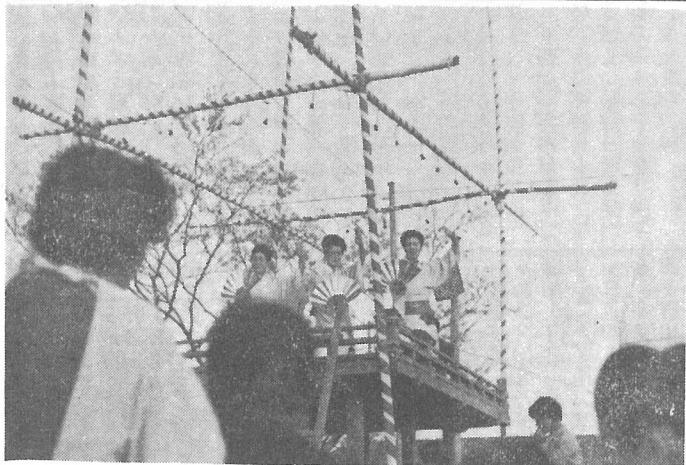
発行所

山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17横芝
広報

横芝町の人口と世帯

<2月28日現在>

常住人口 11,883人
 男 5,607人
 女 6,276人
 世帯数 2,796戸



今年のさくらは、異常気象のため幾日かおくれるとの気象庁のご託宣。しかし桜祭りは逃せない年中行事であって見れば、各商店は黙っているはずもなく、何れにぎやかな行事が繰りひろげられることでしょう。<写真は昨年の催しを撮ったもの>

予算総額の45%を上める

新年度の建設事業

公民館や町営住宅など

町の昭和四十四年度の一般会計予算は、昨年度当初予算より一億円近く増額された三億四、二九六万円の大型予算になりました。

されいる主要な建設事業計画を拾つて見ますと、一億五、三四七万円になり、予算総額の四五%を占めています。以下これらの計画の概要を記して見ましょう。

公民館の建設

住民待望の中央公民館建設の気運が漸やく熟し、旧役場の南隣りに建設用地を確保し、整地もほぼ済んでいます。ここに鉄筋コンクリート二階建一千平方米のものを建

て見ましょう。

町営住宅の建設

栗山地区の国有地の払下げを受けて、木造平家建第一種住宅十棟を建設するもので、建設予算は二、一四四万円。

横芝中プールの建設

現中学校敷地の東方外側に用地一、五五四平方米(四七〇坪)を買収し、二五米×一五メートル(八コース)のものを建

て見ましょう。

保育所の建設

東町地域の児童を対象とする保育所を東町児童館に隣接して、約六〇坪のものを新築

設する構想で、予算四、一〇九万円が計上されています。

設するもので、工事費予算一、五三一円。

設するもので、工事費予算東町通学道路四五〇米(以上舗装工事)役場前!旧国道一二〇米

(以上舗装工事)

坂田地先二〇〇米

中台地先二〇〇米

寺方地先二二〇米

坂田地先二〇〇米

中台地先二〇〇米

東町、上町、中台地先の排水工事その他、これら県事業負担金五四七万円。

北清水地先二〇〇米

広報よこしば

中学の部で二位

都市ロードレース大会

第二回山武都市ロードレー
ス大会は、二月九日山武町を
会場として行なわれ、参加し
た十チームによつて覇をきそ
いました。

生の部は準優勝の栄をかちました。
成績は次のとおりです。

一般の部 三位 横芝町
一位 山武町

ふる里の話題

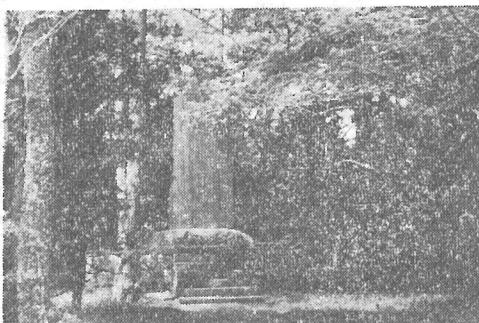
大原幽学と横芝町

○九月十三日、屋形村沙村氏
宅にて

四月に至り景物左の通り、
「加美津ふさの国武射郡屋形」

物影の尖く闇し後の月
(この年には実に多く屋形村
を訪れている。ここに記すのは極めて一部であつて、このほかにも日記其他によつても度々屋形村を訪歴していることが散見される。)
○天保九年（一八三八）四月
二日に出立し一の宮に至り、
真光寺、觀明寺に遊び終日語
らい、十一日出立し再び屋形
村に至る。性学終日論談、閑

村の郷海保の先祖なる者、その末々の為には、有難き事ども多く残し置かれしと云ひ伝へ有りとなん。浅野性（姓の誤りならずや）にも其の同志もありと。然るをいつの世からとも知れず、隔心するものあり。亦奢りに長じ風俗などを好むもあり、衣服等に至る迄も都べて下賤の好みなど、「先祖に不幸の者多し。是に於て先祖の恩をおもい出し、古



幽学先生が最初に常会を開いたと言わ
れるところに建つ記念碑。前方遙かに
耕地を俯観する丘の上にあり。

忠信と言ひて、つべしの徳なりと云いつべし。大きいなりといふべし。亦當時は愚俗の嘲りに逢う事も有る可けれども、その心だに失はざる時は

に長じたるを
更に、海保、
よく人の道を
がその人に依
曳いた一例で
伝えると、
神、海保家に
よう忠告し、
れを励まし精
たという、
術にも一家を
を持っていた

税務課長	田中 静
企画課長	二一年 小沢 春光
建設課長	二〇年 川島 忠
	二〇〇年
への規矩に立直さん	志し、
その友どち十四、五輩なる中	
に海保兵太郎、同五郎八、浅	
野吉右門（右衛門ならずや）	
の三人の主達に、今斯くも順	弱の風俗を改むるには、まず
其の身其の身の行ないを革た	め、能く勤め、漸々にと三世
の後に至るの古への如くの規	矩に立直るべきの事にして、
矩に立直るべきの事にして、	一人の力に及び難き所以を能
く知られたり、故にます 今	この同志の童子達をば、古へ
の尊き時の志に引入る為と	て、この中にも、若し、未熟
て、この中にも、若し、未熟	の人有らば夫なりにして唯々
童子達を引	タ

は九年に亘る老人ホーム院長
長などの公職を歴任される
一方、民生委員総務、児童
委員、社会福祉協議会長など
どを勤め、これらの県の役
員も兼ねられ、社会の下級
層の救済等明朗社会の実現

に寧日なく奔走されていました。
明治三十四年生れと言え
ばまだまだこれから、ひと
働きもふた働きもしていた
だけるご年輩、無慈悲にも
病魔はこの人を奪い去って
しまいました。まことに痛
惜にたえない次第でありま
す。
謹しんで哀悼の意を表し

(右は当時網主として威を張った千神海保家の当主が徳を積んだ先祖に引かへて、奢りに長じたるを戒めたもので、更に、海保、浅野等の人達がよく人の道を守り、行ひ正しきを幽学が賞でたもので、彼がその人に依り指導の方針を曳いた一例である。

伝えるところによれば「千神、海保家には漁業を止めるよう忠告し、外の家々には夫れを励まし精進をすすめていた」という。これは幽学が観相術にも一家を成すだけの識見を持つていたためで、その予

君達が誓へる誠の徳つまば
人教へる事の大きいに手本とな
る可し、故に今其誓約を生涯
君達が孫の世に思いをこめ
て、
君達が誓へる誠の徳つまば
その名は末の
世に残るらん。
と記し参らせて十七日長沼村
に至り終日著者の下書を認む
る、二十日俊策先生に会へず
二十八日屋形村に帰る。

掲載されたことがあります。写真なので細かい点までは判りかねたが割合に型も整い立派に見えたことを覚えていました。今から百三十年の昔、房総の地では既に義歎が用いられていたことを想うと、屋形附近の農家の庭先に黄楊の木等を見かけると「こんな木が義歎に用いられたのではないかしら」と何か懐古の情が湧き上って来ます。

○号を重ねて御愛読をいただ
いた、新生活運動の一大先駆者大原幽学先生が横芝町を訪
歴された事跡等も、今回をも
つて終焉となりました。何年
か前に或新聞に幽学先生が始
作されたという義歯の写真が

東南アジア視察記(一)

町會議員 渡辺喜久雄

千葉県昭和議員の東南アジア視察団に参加された町会議員渡辺喜久雄氏は、各國の状況をつぶさに視察して見聞を広められ、一月二十六日無事帰国されました。そのお手話の一端を寄稿していただきまし
たので、みなさんにご皮鑒、こします。

私ども千葉県議会議員団一行梅沢団長以下十一名は、県知事初め地元市町村長ほか知名有志の方々の激励を受け、自らは郷党的期待を背負って未知の外地東南亞の、政治経済両面の探求に情熱を燃やし、旅立つたのであります。

その夜は指定されたホテルは雨でしたが飛行は真に快調でまたたく間に第一寄港地の香港に到着、初めて見る国際都市香港は高層ビルがギッシリと立ち並び、さすがに豪壮な眺望でした。

目を奪う香港の夜景
ノースアメリカンジエット
機で羽田空港を飛び立ったのは、昭和四十四年一月十二日
1日 新学年、緑の週間、エーブリルフール
2日 復活祭
3日 清明
4日 花祭り、灌仏会

さりに外出して驚きました。
宝石店、時計店など陳列してある品の豪華さ！何百ドルもの商品が山と積まれているのですっかり魅了され、夢の国にいる心地でした。

香港の夜景はたしかにしばらしく、正に目を奪うものがおりましたが、その裏を覗いたとき貧富の差が余りにも隔たりつている現実を見せられ、ここに問題があるということを痛切に感じました。

中共国境の緊迫感



マカオ国會議事堂前にて
前列右から二人目 寄稿者 渡辺氏
後列左から四人目 マカオ政府主席

撮影、親善会談を行い、意義ある一日を過しました。マカオは鉄礦石の产地で、主として日本へ輸出し、その利益をもつて国費の大部分を賄っているとのこと、われわれは大事なお客さんとして大いに歓待されました。中共との国境に案内され行きましたが、中共兵がすぐそこに、警備隊の長マントを行きましたが、双眼鏡でこちら見えしながら、双眼鏡でこちら

の夜はマンハッタン。ホテルに宿泊。ホテルは外人観光客で大賑いでした。

十五日朝メナム川の水上マーケットと言われる野菜市場を見学しました。ここは水浴も川、煮炊も川の水で、非衛生極まる未開国の一面をマザマザと見せられました。次いでパンコック支庁での丸交換、記念撮影等の親善行事を済ませてから、日本大

橫芝俳壇

橫芝句會三月例會作品抄

たことは心強い限りでした。
ただ環境衛生の面はまさに
低開発国などと言わざるを得
ない現状を見ては少からず考
えさせられました。(未完)

横芝俳壇		横芝句会三月例会作品抄	
南天の赤まんりゅうの赤春の雪 かたむきし記念碑のもと春芽出づ	鳥下 市原 文緒	栗山	若梅あやめ
よせ切ればよもぎの青や水温む よもぎ摘むいつしか里を遠くはなれ	栗山	田島 千女	
下萌や麦踏む背に陽のにはい 外灯に庭の水仙みごもりぬ	栗山	川島 松露	
下崩や道するべ読む山の道 春光や句座を流る横日筋	清水	川島	
日々通る野良路の崩えて地やわら 春光や倉庫のとびら次々開く	清水	斎藤ちくろ	
子はまろびまろび投げる春の雪 就職の子ら眉宇清し春光る	古川 藤代 ゆう	鳥沼 高埜 孝子	
春光や鶴の溜まる松の瘤 寝不足の眼に春光が和みくる	横小 清水 伊藤美佐子	横小 古内 啓明	
瓦の帽子陽に傾いて雪だるま 梅満開半鐘低くかかりをり	横小 清水 伊藤美佐子	高埜 孝子	
春光彈ねかかるおむの笑い 春光や聞きしままの絵具箱	横小 古内 啓明	横小 高品 虎洞	
春雪さらさらさら不眠の夜をくすぐる 班ら雪フレーム青き色透ける	古内 青人	高品 虎洞	
小躍りといふはこの児等春雪譜 こころころと女兒の饒舌下崩える	青人		
○四月十二日午後一時半、句稿締切 ○兼題 春灯、木瓜、通して五句			
○横芝小学校応接室に於て			

四月例会のお知らせ

○四月十二日午後一時半、句稿締切
○兼題 春灯、木瓜、通して五句

